

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	果実の木江洲教室			
○保護者評価実施期間	令和7年3月1日 ～ 令和7年4月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)	19
○従業者評価実施期間	令和7年3月1日 ～ 令和7年4月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年5月2日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童福祉、障がい児福祉経験豊富な職員がおり、多角的にアプローチができる。 ・保育所等訪問支援サービスも行っており、より学校との連携がスムーズ。	・職員間の情報共有 ・保護者支援 ・利用者との個別相談（面談） ・職員研修（スキルアップ、障害の理解）	・定期的な研修 ・職員間のスキル共有と能力向上 ・障害福祉分野での経験を持つ職員や専門職の知見を活かし、チーム内でのプロジェクト活動

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・第三者委員会の設置 ・地域参加型支援や親子参加支援、保護者会の開催	・今後、第三者委員会を設置し意見交換の場を設ける。 ・地域との連携が図れるよう、公民館や児童館との交流を行う ・保護者とのコミュニケーションの場を設ける。	・今後、第三者委員会を用いる ・地域との関わりが持てる支援計画 ・保護者会の開催（参観日等）